

令和元年5月27日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 令和元年5月27日(月曜日)

午後2時50分から午後3時45分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 金澤 俊道 委員 鷲尾 達雄 委員 羽賀 友信  
委員 青柳 由美子 委員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	小池 隆宏	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	遠藤 雄一
学務課長	笠井 晃	学校教育課長	中山 玄
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之
学校教育課主幹兼管理指導主事	丸山 巧	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	子ども家庭課長	田中 剛
保育課長	田辺 亮	青少年育成課長	斎藤 裕子
スポーツ振興課長	水内 智憲	学校教育課企画推進係長兼指導主事	小嶋 修

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	安達 紀子	教育総務課長補佐	植村 裕
教育総務課庶務係長	佐藤 裕	教育総務課庶務係	内藤 貴幸

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 24 号	専決処理について（補正予算の要求について）
3	第 25 号	条例改正の申出について （長岡市子育ての駅条例の一部改正）
	第 26 号	条例改正の申出について （長岡市保育園条例の一部改正）
	第 27 号	条例改正の申出について （長岡市児童館設置条例の一部改正）
4	第 28 号	条例改正の申出について （長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正）
5	第 29 号	補正予算の要求について
6	第 30 号	附属機関委員の委嘱について

## 7 会議の経過

（金澤教育長） これより教育委員会 5 月定例会を開会する。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員について

（金澤教育長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び大久保委員を指名する。

---

### ◇日程第 2 議案第 24 号 専決処理について（補正予算の要求について）

（金澤教育長） 日程第 2 議案第 24 号 専決処理について（補正予算の要求について）を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 議案第 24 号 専決処理について説明する。補正予算の要求について、その処理に急を要したことから、平成 31 年 3 月 29 日付けで専決処理したため、報告し承認を求めるものである。本来、4 月の定例会で報告すべきところを失念しており、今回報告することをお詫びする。補正予算の内容は、地方債の確定に伴う市債の整理等の中で、保育園及び認定こども園の整備事業が起債事業の対象に認められたため、1 億 1,990 万円を増額補正するものである。

(金澤教育長) 質疑・意見はあるか。

(金澤教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり承認した。

---

◇日程第 3 議案第 25 号 条例改正の申出について

(長岡市子育ての駅条例の一部改正)

議案第 26 号 条例改正の申出について

(長岡市保育園条例の一部改正)

議案第 27 号 条例改正の申出について

(長岡市児童館設置条例の一部改正)

(金澤教育長) 日程第 3 議案第 25 号 条例改正の申出について(長岡市子育ての駅条例の一部改正)、議案第 26 号 条例改正の申出について(長岡市保育園条例の一部改正)、議案第 27 号 条例改正の申出について(長岡市児童館設置条例の一部改正)を一括して議題とする。事務局の説明を求める。

(田中子ども家庭課長) 議案第 25 号 長岡市子育ての駅条例の一部改正について説明する。改正理由は、県営ほ場整備事業(担い手育成型)中之島中部地区の換地計画に基づく換地処分が完了したことに伴い、子育ての駅なかのしまの正式な所在地番が確定したため、条例の一部を改正するものである。これまで仮地番であった本条例第 2 条の表の子育ての駅なかのしまの項中「長岡市中野西創 1 番地」を「長岡市中野西甲 700 番地」に改める。

(田辺保育課長) 続いて、議案第 26 号 長岡市保育園条例の一部改正について説明する。今ほどの子育ての駅条例の一部改正と同じ理由で、第 2 条の表の長岡市立みずほ保育園の項中「長岡市中野西創 1 番地」を「長岡市中野西甲 700 番」に改める。

(斎藤青少年育成課長) 続いて、議案第 27 号 長岡市児童館設置条例の一部改正について説明する。こちらと同じ理由で、第 2 条の表の長岡市みずほ児童館の項中「長岡市中野西創 1 番地」を「長岡市中野西甲 700 番」に改める。

(金澤教育長) 質疑・意見はあるか。

(金澤教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

◇日程第 4 議案第 28 号 条例改正の申出について(長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)

(金澤教育長) 日程第 4 議案第 28 号 条例改正の申出について(長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)を議題とする。事務局の説明を求める。

(田辺保育課長) 議案第 28 号 長岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について説明する。家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準については、厚生労働省が省令で基準を定め、その基準に従い市町村が条例を定めている。今般、厚生労働省令が平成 31 年 3 月 29 日付けで一部改正されたため、本市の条例についても同様の改正を行うものである。家庭的保育事業等は、主に 0 歳児から 2 歳児の少人数の子どもを保育する事業で、(1) 小規模保育(定員 6 人以上 19 人以下)、(2) 家庭的保育(定員 5 人以下)、(3) 居宅訪問型保育、(4) 事業所内保育(主として従業員の子どものほか、地域において保育を必要とする子どもにも保育を提供)の、4 種類の形態がある。長岡市における事業所数は(1)は 13 か所、(2)と(3)は 0 か所、(4)は 3 か所である。この事業を行

う場合は連携施設を確保しなければならず、今回の改正は、この連携施設の条件設定を緩和するものである。改正内容の1つ目は、家庭的保育は通常2歳までの保育を行うが、卒園した後、3歳以降の保育を行う受け皿の確保が著しく困難な場合は、市長が適当と認める企業主導型保育事業または、認可外保育施設を連携施設として認めるものである。2つ目は、事業所内保育のうち40人以上の定員で規模の大きい保育所型事業所内保育事業所は、3歳から5歳の子どもの保育を認められる場合があり、その場合は卒園後の保育の受け皿の必要がないため、連携施設の確保を不要とするものである。3つ目は、連携施設の確保が著しく困難であって、必要な支援を行うことができると市長が認めるときは、平成27年4月1日から5年間は連携施設を確保しないことができることとされているが、当該期間の期限を5年間延長することとするものである。この改正による本市への影響はない。施行期日は、公布の日からである。

(金澤教育長) 質疑・意見はあるか。

(田辺保育課長) 補足になるが、都会の方では連携施設の確保が難しい。各自治体が国に対して、こういった規制を緩和してほしいと提案したところ国が認め、全国一律で緩和された。

(金澤教育長) 保育所型事業所内保育事業所は、長岡市内にあるのか。

(田辺保育課長) 長岡市にはない。

(金澤教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(金澤教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

◇日程第5 議案第29号 補正予算の要求について

(金澤教育長) 日程第5 議案第29号 補正予算の要求について を議題とする。事務局の説明を求める。

(遠藤教育施設課長) 教育施設課の補正予算については、融雪に伴い、山古志小・

中学校の校舎北側の法面が一部崩落したため、当該法面の復旧等工事を実施するものである。委託費で110万円、工事請負費で2,240万円、計2,350万円の補正予算を要求する。昨年の春に幅10メートル高さ20メートル、200㎡ほどの部分が一部崩落していた。その際に仮設の応急復旧として、シート等での養生をしていたが、今年同じ箇所がさらに侵食し崩落した。崩落箇所は体育館角の柱の部分から約3メートルの場所にあり、更に浸食が進むと校舎に影響を及ぼす可能性があることから、安全確保のため、本工事を行うものである。また、冬場、体育館屋根に積もった雪を除雪する際に、崩落場所と体育館の間の3メートルほどの通路を使用しているが、工事期間中は通れなくなるため、仮設の切り回し通路の工事も行い、除雪対策を行う。

(山田中央図書館長) 中央図書館の補正予算は、図書館に寄附金の申出があったことによるものである。中央図書館を利用されていた市民の方がお亡くなりになり、ご遺族から、図書館を毎日の居場所として利用していたため、その感謝の気持ちとして、10万円のご寄附の申出があった。これを歳入として受け入れ、寄附者の意向により歴史小説大活字本などの購入費を歳出予算として計上する。

(田中子ども家庭課長) 子ども家庭課の補正予算については、ファミリー・サポート・センター運営事業費として29万6千円、子育ての駅ちびっこ広場運営事業費として46万4千円、子育ての駅千秋運営事業費として17万2千円を歳出として計上するものである。これについては、幼児教育・保育の無償化に伴い、これらの施設で実施している一時保育預かり場事業も無償化の対象となることから、先般改正案の成立に伴い、国から具体的な手続きが示されたため、利用者へ償還払いする負担金を計上するものである。歳入は、国庫支出金の負担金として、ファミリー・サポート・センター事業分で14万8千円、一時預かり事業分で31万8千円を計上する。これらについては、幼児教育・保育の無償化に伴う負担金うち、国の負担割合である2分の1の額である。また、県支出金の負担金として、ファミリー・サポート・センター事業分で7万4千円、一時預かり事業分で15万9千円を計上する。これらは、負担金のうち県の負担割合である4分の1の額である。

(田辺保育課長) 保育課の補正予算は、歳入補正額767万7千円、歳出補正額880万円である。歳出については、幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修費と、



現在現金で徴収している公立保育園主食費を口座振替にするためのシステム改修費である。歳入については、幼児教育・保育の無償化に伴うシステム改修費は全額国の補助の負担となるため、子ども・子育て支援事業費補助金として計上する。

(曾根教育総務課長) 教育総務課の補正予算は、長岡市統合型校務支援システム運用等業務委託料の債務負担行為の設定である。校務支援システムは、学校での成績処理や出欠管理、保健管理など、教員の事務の効率化を図るためのシステムである。このたび、令和2年4月からの新システム移行に伴い、今年度の構築業務及び令和2年度から6年度までの5年間の運用保守について委託契約を締結するため、債務負担行為を設定するものである。設定期間は令和元年度から令和6年度まで、限度額は1億499万7千円である。

(金澤教育長) 質疑・意見はあるか。

(鷲尾委員) 学校の隣地の私有地が崩落した場合、地主に対してどのような対応をするのか。

(遠藤教育施設課長) 地主に対して改修をお願いするのが筋であるが、何かの事情で対話できない場合で喫緊に学校施設に影響があり安全等に配慮しなければならないのであれば、一旦、市で工事を行い、その後地主と交渉を続けていくことになると思う。

(金澤教育長) 緊急度を加味して財政課などと協議を行うことになると思う。

(金澤教育長) 保育課のシステム改修費の差額については、市の負担ということなのか。

(田辺保育課長) 無償化に伴うシステム改修費は全額国からの補助があるが、主食費徴収システム改修費については、無償化に伴うものではないので、全額市の負担となる。

(金澤教育長) 主食は無償化の対象にはならないと決めたのは国だが、それに伴うシステムの改修費は補助しない、ということではいか。

(田辺保育課長) よい。主食は無償化の対象外だが、どうしても口座振替にて徴収しなくてはならない、ということではないためである。

(金澤教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(金澤教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議な

いか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

◇日程第6 議案第30号 附属機関委員の委嘱について

(金澤教育長) 日程第6 議案第30号 附属機関委員の委嘱について を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 議案第30号 附属機関委員の委嘱について説明する。長岡市公立学校通学区域審議会委員及び長岡市スポーツ推進審議会委員の樺澤和幸氏の死去に伴い、新たな候補者に委嘱するものである。委嘱期間は、前任者の残りの期間までである。

(水内スポーツ振興課長) この度長岡市スポーツ推進審議会委員に内申する方は、山古志のスポーツ推進委員を通算22年務めた方で、現在は長岡市全体のスポーツ推進委員連盟の理事長を務めている。山古志地域においてはバレーボール指導者であり、6名いる地域のスポーツ推進委員の中心的な役割を果たしている方である。

(金澤教育長) 質疑・意見はあるか。

(金澤教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

(金澤教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

---

(金澤教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、平成31年度全国学力・学習状況調査問題 長岡市教育委員会分析概要について 事務局の説明を求める。

(中山学校教育課長) 4月18日に、市内全小中学校が参加し、教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査が行われた。今年度は従来の「主として『知識』に関する問題(A問題)」と、「主として『活用』に関する問題(B問

題)」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題が構成されている。

また、国語、算数・数学のほかに、中学校で英語の調査が初めて実施され、学習指導要領に示されている領域「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に加えて、「話すこと」がコンピュータ教室等のPC端末等を活用する音声録音方式で行われた。以下、具体的な問題の分析の概要については、担当指導主事が説明をする。

(小嶋学校教育課企画推進係長兼指導主事) 新学習指導要領の3つの柱が相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に基づいて、各教科の調査問題は一体的に構成されている。全体的な特徴は、日常生活の場面や実際の授業等と関連付けられた設定の下、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図ったり、問題の文脈に沿って複数の情報を関連付けて解いたりするなど、活用力や読解力が身に付いているかをみることを重視して出題されている。具体的に中学校数学第2学年「関数」で出題された問題を例に説明する。(1) 与えられたグラフ上の座標について、冷蔵庫Aを購入してから8年間の電気代を表すことを読み取る問題では、実生活に関連する場面で数学的に解釈する力が求められる。(2) 冷蔵庫BとCの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を自分で解決方法を選択して説明する問題では、主体的に問題解決の方法を考え、式やグラフに関する知識及び議論を活用して数学的に説明する力が求められる。次に、中学校英語「話すこと」で出題された問題を例に説明する。この調査は初めて実施され、生徒はヘッドフォンを装着しマイクに向かって話しをすることで行う調査である。会話する2人のやり取りの内容を踏まえて質問に答え、即興で会話が続くように英語で応じる問題や、与えられたテーマについて1分間で内容を考え、30秒で話すという問題が出題された。コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報や考えなどを理解したり、それらを整理・統合して英語で表現したり伝えあったりする力が求められる。各教科の調査問題から見える学習活動や学習過程は、新学習指導要領の趣旨を具現した授業を示している。今後は、授業参観や学校訪問等で具体的な授業を見ながら授業づくりの視点を整理したり、調査の結果から成果と課題等を分析したりして、各学校への改善事項をまとめ、教育センターの研修講座などを活用して周知・啓発を図る。

(中山学校教育課長) 文部科学省から本調査の結果が届くのは7月下旬の予定である。8月以降、長岡市の調査分析を進め、各学校での取組に繋げられるように活用

方法を検討する。

(金澤教育長) 質疑、意見はないか。

(金澤教育長) 従来のA問題とB問題の区分が、今年度は一体的に出題されたが、調査結果は従来のA問題とB問題のように別々に分析されるのか。

(小嶋学校教育課企画推進係長兼指導主事) 先ほど例に挙げて説明した数学の問題だと、(1)が昨年までのA問題、(2)が昨年までのB問題に相当する問題である。今までの結果と繋げて整理したいと考える。

(金澤教育長) 国からの調査分析も同様に行われるのか。それとも長岡市独自の分析として、A問題とB問題を類別して行うのか。

(小嶋学校教育課企画推進係長兼指導主事) 問題ごとに結果を分析すれば、類別した改善事項を示していくことが想定される。

(金澤教育長) まだはっきりと示されてはいないのか。

(小嶋学校教育課企画推進係長兼指導主事) 国としては、従来どおり、問題ごとに分析を示すものである。

(鷲尾委員) 国はどういった反省に基づいて調査問題を見直すのか。また、見直しによって現場への負担や混乱が生じる可能性はあるのだろうか。

(小嶋学校教育課企画推進係長兼指導主事) 国は学習指導要領に基づいて調査問題を見直している。来年度から実施される新学習指導要領の3つの柱は、個別に育まれるものではないという趣旨のもと、一体的に問題が構成されている。現場への負担としては、このような授業づくりを進めるための研修が必要である。市として改善事項を整理し、求められる授業づくりを進められるよう支援したいと考える。

(金澤教育長) 英語の調査において、長岡市では不具合はなかったと聞いているが、調査を行うこと自体への負担はどうであったか。東北中学校では、調査を行う教室が1つしかないために大分時間がかかった、と聞いているがどうか。

(小嶋学校教育課企画推進係長兼指導主事) 生徒1人1人のデータを録音したり、その録音されたデータをUSBに回収したりする時間がかかったため、特に生徒数が多い学校については、事前・事後の作業についても負担は大きかったと聞いている。

(金澤教育長) 他に、質疑、意見はないか。

(金澤教育長) 次に、令和元年度長岡市成人式について 事務局の説明を求める。

(斎藤青少年育成課長) 5月3日に長岡、越路、小国、栃尾、川口の5地域で長岡市成人式を開催した。内容は、式典、新成人決意の言葉、また支所地域では、記念撮影やビデオレター、恩師との交流会なども執り行われた。出席者数については、長岡地域は昨年度より100人ほど増加し、栃尾地域は例年並み、その他の3地域は減少した。いずれの地域も大きな混乱なく式典を実施することができた。このあと、8月14日に山古志地域、8月15日に中之島地域・三島地域・和島地域・寺泊地域・与板地域にて成人式の開催を予定している。

(金澤教育長) 質疑、意見はないか。

(鷲尾委員) 長岡地域の成人式に出席したが、自身の子どもがお世話になった先生方がビデオレターに出てくれていた。先生が映ると、その学校の卒業生がいる場所が盛り上がりしており、とても微笑ましく、良いなと感じた。また、園児の演奏する太鼓を聞いていると、変なことはできないなという緊張感が会場に満ち溢れて、良い式典だと感じた。

(金澤教育長) 他に、質疑、意見はないか。

(青柳委員) アオーレで開催されるのは何年目なのか。

(斎藤青少年育成課長) 平成24年度から8年目である。

(青柳委員) すごく落ち着いている式典で良かった。

(金澤教育長) 新成人の出席者が、市長の話も良く聞いていて、席にもきちんと着いており良かった。

(金澤教育長) 次に、長岡市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の一部改正について 事務局の説明を求める。

(斎藤青少年育成課長) 長岡市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の一部改正について説明する。本要綱は、市長の補助執行として事業を行い、長岡市として公表するために報告事項とする。この運営費補助金は、民間の力を活用し、放課後の児童の預かり体制を充実させることを目的として設けている補助金である。この度、この補助金の元となっている国の子ども・子育て支援交付金の補助金額が変更になったため、それに準じて長岡市の補助金交付要綱も改正するものである。改正内容は、第6条別表の補助基準額をすべて増額改定するものである。要綱改正

は、公表の日から施行し、平成 31 年 4 月 1 日に遡って運営事業に適用する。参考として、長岡市の児童クラブ運営状況は、公設民営が 42 クラブ、公設公営が 9 クラブ、民設民営が 1 クラブで、交付要綱の改正に伴い影響があるのは、現在栃尾地域の民間が運営している児童クラブ 1 か所のみである。

(金澤教育長) 質疑、意見はないか。

(金澤教育長) 次に、長岡市予防接種事故災害補償規定の一部改正について事務局の説明を求める。

(田中子ども家庭課長) 市長の補助執行として行い、長岡市として公表するために報告事項とする。万が一、予防接種事故が発生し、市の負担が生じた場合や、市に賠償責任が生じた場合のために、市として全国市長会の保険に加入している。この度、全国市長会予防接種事故賠償保障保険特約書の改正に伴い、長岡市予防接種事故災害補償規定の第 5 条第 1 項第 2 号中の補償金額を増額変更する。改正後の規定については、平成 31 年 4 月 1 日以後に発見された事故から適用する。

(金澤教育長) 質疑、意見はないか。

(金澤教育長) これにて、協議報告事項を終了する。

(金澤教育長) 次に、催し案内について、補足説明のあるものは挙手願う。

(山田中央図書館長) 5 月 25 日から 7 月 15 日まで栃尾美術館において小林花子展を開催している。関連企画として、6 月 16 日にギャラリートーク、6 月 30 日にワークショップを実施する。また、長岡市立図書館開館 100 周年記念誌を作成した。記念事業、図書館のあゆみ、資料編の 3 編で構成編集した。

(田中子ども家庭課長) NP プログラムの一環でお父さん向けの子育て応援講座とお母さん向けの子育て応援講座を開催する。子どもとの関わり方を学ぶことで、虐待防止につなげるものである。いずれも今のところ 10 名ほどの申し込みがある。次に、6 月 19 日にぐんぐんにて、発達出前相談会を開催する。昨年からの取組で年 2 回開催しており、子ども家庭センターの職員が出向いて相談会を行う。また、年に 1 回、約 2,800 部発行しているファミリー・サポート・センター活動だよりと、6 月に子育ての駅で行う講座やイベントのお知らせをまとめた子育ての駅 6 月のおしらせを発行した。

(斎藤青少年育成課長) 6 月 16 日に第 50 回子どもフェスティバルを開催する。3

回ほど続けてアオーレで開催していたが、今年は 50 回目ということで、ニュータウン運動公園で開催する。子どもが探検するポイントラリー、三島の丸太早切り、中之島の大凧上げ、ロボットゲームなどを予定している。50 回目ということで、出来るだけ多くのお子さんに参加してほしい。

(金澤教育長) 質疑、意見はないか。

(金澤教育長) 子ども家庭課のNPプログラムは、どのような場所でどのような方を対象に周知しているのか。

(田中子ども家庭課長) 各公共施設にチラシを設置しているほか、子育てナビやホームページでも情報発信している。

(金澤教育長) 必要な方に情報が行き届いているのだろうか。

(田中子ども家庭課長) NPプログラムは12名の定員で、毎年10名ほど新規の方のお申し込みがある。

(金澤教育長) 発達出前相談会についての周知はどうか。

(田中子ども家庭課長) 関係機関の施設にチラシを設置したり、興味のある団体にチラシを送付したりしている。

(金澤教育長) ファミリー・サポート・センター活動よりも同じなのか。

(田中子ども家庭課長) こちらはファミリー・サポート会員の方や、親子サークルの団体、保育園・幼稚園に送付したり、子育ての駅や各支所に設置している。

(金澤教育長) 情報は行き届いているとは思いますが、せっかく一生懸命作成したり良い活動をしたりしているので、必要な方のところに情報が届くことが大事である。今の状況をもう一度見直し、どうやったらさらに隅々まで情報が行き渡るかを考えるのも良いと思う。

(波多子ども未来部長) NPプログラムは少人数で行う講座なので、子ども家庭センターや保健師が、講座の受講が必要であろう保護者に声をかけている。

(鷲尾委員) 講座を受講された方のアンケートで、講座をどういった方法で知ったのかや、周知方法についての意見はあったのか。アンケート自体あったのか。

(波多子ども未来部長) アンケートは実施している。講座が終了して感想を述べる際は、どなたも涙を流される。その後も受講された方たちでネットワークを組み、助け合っているようだ。周知については、現状の方法でも良いと考える。市政だよ

りなどでも周知しており、自ら見て来られる方もいるという状況である。

(金澤教育長) 少人数なので多くの方に声をかけてはいけないのかもしれないが、受講された方にそれだけ効果があるならば、受講していない方で現在子育てに困っていて受講した方が良いでしょう方はまだいるのではないかと。

(波多子ども未来部長) 私たちが把握していない方もいるかもしれないので、検討したいと思う。

(金澤教育長) 他に、質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 米百俵未来塾について、米百俵財団や関係団体も努力しているが、まだ申込人数が充足していないので、委員の方にも周知にご協力いただきたい。内容はとても良いので、ご協力をお願いしたい。

(金澤教育長) 現在の申込人数はどれくらいなのか。

(曾根教育総務課長) 志のある34名の方からの申し込みがある。

(金澤教育長) 他に、質疑、意見はないか。

(鷲尾委員) 教育実習を行った学生に対して、その学校の卒業式への案内はするのにか。

(神林学校教育課主幹兼管理指導主事) 基本的にはあまりしないと思うが、学校と個別の繋がりはあると思う。

(鷲尾委員) 毎年卒業式に参列させてもらうと、感動して、生まれ変わったら教師になりたいという気持ちになる。1年間の教員の苦勞が卒業式で解決する。やっけて良かったと歓喜している教員の姿や、感動している児童・生徒の姿を教育実習を行った学生に見て欲しい。長岡市独自に、市内で教育実習を行った学生に、実際に出席できるかどうかは別にして、卒業式の案内をする仕組みはどうかと考える。

(神林学校教育課主幹兼管理指導主事) 短期的にも長期的にも教員志望者をどのように増やしていくのかが大きな課題である。校長会などでそのような取組も有効かもしれない、と伝えることはできると思う。

(羽賀委員) 私のところにもそのような卒業生が来ているが、卒業式を見て、逆に自分の実力の限界を感じて関わりたくないと思ったようだ。一律にそのような取組をすることは、みなさんにご迷惑がかかる可能性があるのでは良くないかもしれない。

(金澤教育長) 私の経験から言うと、自分で卒業式に行っても良いかと尋ねてくる



学生はいたが、学校から正式に卒業式の案内を出すことは今までなかった。県の義務教育課長と話す機会があった。県は教員採用試験の倍率が上がって欲しいと考えている中で、教育実習で教員を断念する学生がいるということだった。教育実習で良い経験ができると絶対に教員になりたいという強い決意が芽生える。教育実習の在り方を考える必要がある。

(金澤教育長) その他に報告事項はあるか。

(金澤教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

---

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員